



レナフォだより 第2号 (2009年11月)

〒154-0023 東京都世田谷区若林 5-21-1
NPO 法人 国際ふるさとの森づくり協会

昨年9月10日の協会設立以来、会員の皆様方には温かく力強いご支援、ご協力を賜り、本当にありがとうございました。お陰様で植樹祭や専門家研修などの事業が好評のうちに終了し、NPO 法人としてまずまずの一步を踏み出すことができたかと思っております。

これらは会員の皆様によるボランティア活動や、ご協力いただきました諸団体の資金的、物資的ご支援の賜物であります。また、事業に関わる各種商標登録、ホームページの立ち上げ・維持などは若い会員の方々の献身的なご努力に依っております。

政治情勢が大きく変わり、地球環境への対応は新しい局面を迎えております。ふるさとの森づくりに寄せられる市民の期待はますます大きくなって来ていると実感しております。この9月から始まった2009年度は従来の事業を更に大きく推進すると共に、森林認証や苗木づくりなど新しい取り組みにも挑戦して行きたいと願っております。

会員の皆様におかれましてはこの活動の輪を大きく広げるため一層のお力添えを賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

国際ふるさとの森づくり協会
理事長 高野義武

■ 初めてのポット苗づくり

レナフォ主催のポット苗づくり体験会(後援:飯綱町、飯綱町教育委員会、毎日新聞社、信濃毎日新聞社)が12月5日、長野県上水内郡飯綱町袖之山のレナフォ長野事務所で行なわれ、ブナ、ミズナラ、コナラ、クヌギのドングリのポット苗約1000鉢を作り上げた。

宮脇昭・特別顧問が、約70人の地元の人たちに、▽地域の苗を育てて植えることの大切さ▽ドングリは落ちる前に木の下にビニールシートを敷くと容易に集められる▽虫に食われないようにすぐに水に漬けるなどの苗作りのポイントを解説。和田清・信州大名誉教授が、同県内でどングリの拾える場所などを紹介した。

参加者の多くは、前日に同町民会館であった宮脇特別顧問の講演会「今こそふるさとの木によるふるさとの森づくりを」(出席:約200人)にも参加した。首都圏や仙台市から参加した人もいて、師走の寒風が舞う中、約2時間で作業を終えた。



苗木づくりを指導する宮脇特別顧問



ポット苗には切りワラのマルチング

2009 年度事業計

第2回通常総会(10月5日、如水会館)で2009年度の事業計画案が承認されました。計画案に基づいて内定した主な事業は次のとおりです(月日は植樹祭の実施時期、あるいは予定日)。

■ 第2回「ふるさとの森づくりマイスター」研修会・2010年6月

2泊3日の日程で湘南国際村センターで開催します。定員30人。実施要領は決定次第、レナフォホームページ等でお知らせします。

■ 共催予定の植樹祭

▽東禅寺(東京都品川区高輪3-16-16)・2010年4月18日

▽第61回全国植樹祭湘南国際村サテライト会場・第2回レナフォ連携の森植樹祭(神奈川県横須賀市・葉山町)・2010年5月2日

■ 協力予定の植樹祭

▽時ノ寿の森植樹祭(静岡県掛川市)=2010年3月14日

■ 「鎮守の森」「学校の森」づくり支援事業

財団法人日本財団(笹川陽平会長)の助成事業「防災林としての鎮守の森、学校林の再生」を支援します。植生生態学の理論に基づいて宮脇昭レナフォ特別顧問の指導で行なわれる植樹事業を企画段階から実施まで指導します。同財団は2009年度～2010年度に14カ所を予定、支援が決まったのは次のとおり。

▽氷川神社(さいたま市中央区東6-109)・2010年3月

▽古宮神社(埼玉県熊谷市池上606)・2010年3月

▽東京都品川区立八潮学園(品川区八潮5-9-2)・2010年3月

▽横浜市立汲沢中学校(横浜市戸塚区汲沢町550-2)・2009年11月20日に開催しました。

■ 「ふるさとの森づくり 技術指針」(仮称)を刊行します

宮脇昭・特別顧問によって提唱推進されている森林再生方法「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」は既に40年以上の経験と実績を持っています。この方法の技術的ノウハウとしては、実施経験のある機関毎にマニュアルが作成され、それなりの技術的蓄積・継承が行われていますが、一般に広く流布されたものはまだありません。このため、ふるさとの森づくり方法の基本的考え方と具体的方法を、広く一般に提供し、今後間違いなく伝える資料として、「ふるさとの森づくり 技術指針」(仮称)を刊行します。宮脇特別顧問はじめ鈴木邦雄・副理事長(横浜国立大学長)ら数人の理事をメンバーとする「技術指針作成委員会」を設け、刊行にあたっては、日本財団の助成を受けます。また、植樹祭に参加する市民や子供達に苗木の植え方やマルチングの方法を分かりやすく示すパンフレットも作成します。

レナフォを応援して下さい。

2009 年度会員募集

正会員(団体・個人) 賛助会員(団体・個人)

2008 年度事業報告

■ 第1回レナフォ連携の森植樹祭

第1回レナフォ連携の森植樹祭は、全国植樹祭湘南国際村プレ植樹祭と合同の形で5月6日(水・祝)、神奈川県横須賀市の同村で開催されました。雨模様にもかかわらず約400人が参加し、シイ、タブ、カシ類を中心に40種類、3048本を植えました。第61回全国植樹祭湘南国際村サテライト会場実行委員会、毎日新聞社との3者共催で、松沢成文知事や地元自治体の首長、議員らも参加。事前準備から当日まで、会員有志をはじめ地元横須賀市や葉山町の市民の皆さんのボランティア協力をいただき、企業・団体からは資金や物品の提供を得、まさに幅広い連携の森づくりとなりました。

植栽地の道路沿いに6月2日、記念のプレートが設置されました。プレートはアルミニウム製の枠に収められた樹脂製の銘板(立て73センチ、横91センチ)を、鉄製の2本の支柱で支え、高さは1.3メートル。植樹祭開催趣旨のほか、開催の準備や運営に協力した団体の名称が記載されています。



第1回レナフォ連携の森植樹祭(2009年5月6日)第61回全国植樹祭湘南国際村プレ植樹祭と合同で実施

■ 第1回ふるさとの森づくりマイスター研修

植生生態学に基づく「ふるさとの森づくり」の確かな技術的知識を有し、指導的役割を果たす能力を持つ専門家、「植生工学士(別称・ふるさとの森づくりマイスター)」を育成する第1回研修会が6月1日から2泊3日の日程で、神奈川県葉山町の湘南国際村センターで開催され、19人が参加、全員が植生工学士第一期生に認証され、「植生工学士登録証」と「植生工学士(ふるさとの森づくりマイスター)資格者証」(樹脂製カード)が発行されました。

研修会終了後に参加者の皆さんにお願いしたアンケートで寄せられた回答の一部を紹介します。

【年代】 20代 1人 30代 3人 40代 4人 50代 5人 60代 4人

【居住地】 関東 13人 中部 2人 東北 1人 九州 1人

【受講した動機】(複数回答)

宮脇先生への興味 6人 「ふるさとの森づくり」への興味 5人 自己啓発 4人 現在の仕事に役立てる 4人 身近な自然への疑問 2人 資格取得 2人 ネットワークづくり 2人

【参加しての評価】

知識が増えたので森づくりなどの活動をしたい	3人
この先の活動に生かし、森づくりを提案したい	2人
全国から集まった多業種の方々とよい交流ができた	2人
子供たちに森をつくる大切さ、楽しさを教えたい	1人
研修を終えて庭のゾウリムシがかわいくなりました	1人
土壌動物への関心がさらに強まりました	1人

右の写真はマイスター研修の植樹実習



■ レナフォ設立1周年記念講演会

レナフォ設立1周年記念講演会が10月5日、東京都千代田区一ツ橋の如水会館で開催され、約100人が参加しました。レナフォ特別顧問の宮脇昭・横浜国立大学名誉教授が「いのちと心と遺伝子を守るー自然・環境・経済の共生を求めて」の演題で講演。東京23区で最も人口が過密な豊島区で、宮脇名誉教授の指導で今年から取り組みが始まった全小学校などでの環境保全林づくりなどを紹介し、用地の少ない都市部でも森づくりすることの大切さを強調しました。

記念講演に先立って、カレントトークとして田中眞紀子衆院議員が「地球環境を考える ～子や孫のために」のテーマで約30分講演しました。田中議員は、「森づくり推進法」(仮称)制定を目指す超党派議員の「都市のみどりを保全する議員立法の会」(08年1月発足)の世話人であり、08年2月には、国会内で宮脇さんを講師に招いて勉強会を開催しました。

右の写真は講演する田中眞紀子議員



■ レナフォの公式サイトがオープンしました。ご愛読ください。<http://www.renafo.com/>

レナフォコラム

なぜレナフォなの？

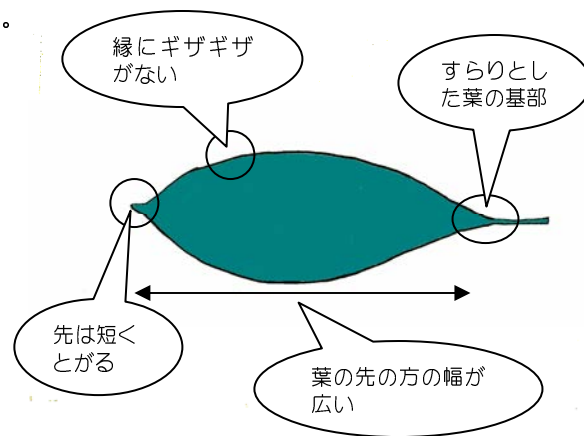
「NPO 法人 国際ふるさとの森づくり協会 がどうしてレナフォ(ReNaFo)なの？」とよくたずねられます。レナフォは当協会の英語名 ”International Association for Restoration of Native Forest” から来ています。Restoration の Re、Native の Na、Forest の Fo をとって「ReNaFo」あるいは「レナフォ」と略称することとなりました。

柔らかな響きで皆さんに可愛いがっていただけたらと願っています。

レナフォのロゴマーク

当協会のロゴマークについてご紹介します。このマークは「タブノキ」の葉を示しています。タブノキは、シイやカシとともに高さ20mにもなる常緑広葉樹です。本州の特に海岸沿いの地域で、人間の影響を排除した場合、最も安定した森林を作る樹種の一つです。レナフォにとってこれから大切な樹種になると思われ、あるがままのタブノキの葉の絵の下に ReNaFo の文字を入れロゴマークとしました。

5月6日の「第1回レナフォ連携の森植樹祭」でも このタブノキがもっとも多くの本数植え付けられます。



本紙の発行が諸般の事情により若干遅れたことをお詫び申し上げます。

当面のレナフォ活動への申込欄

当協会の当面の活動やメーリングリストにご参加いただける方は下記の口欄にチェックし、必要事項をご記入の上、郵送または FAX でご返信ください

ご氏名 : 性別(男 女)

年齢 : 才

ご住所 : 〒

電話番号 :

5月2日の植樹祭に参加します。

同行者がおられる場合 その方の

ご氏名:

年齢

電話番号

6月のマイスター研修に参加します。

団体の場合は可能な範囲で以下にご記入ください。

団体住所:

〒

団体名・部局名:

電話番号:

参加者ご氏名:

メーリングリストに加わります。(個人・団体とも)

メールアドレス:

NPO 法人 国際ふるさとの森づくり協会 (ReNaFo)

宛先: 東京事務所 〒154-0023 東京都世田谷区若林 5-21-1

TEL/FAX: 03-3422-2765

長野事務所 〒389-1223 長野県上水内郡飯綱町袖之山 497-4

TEL/FAX: 026-253-4740